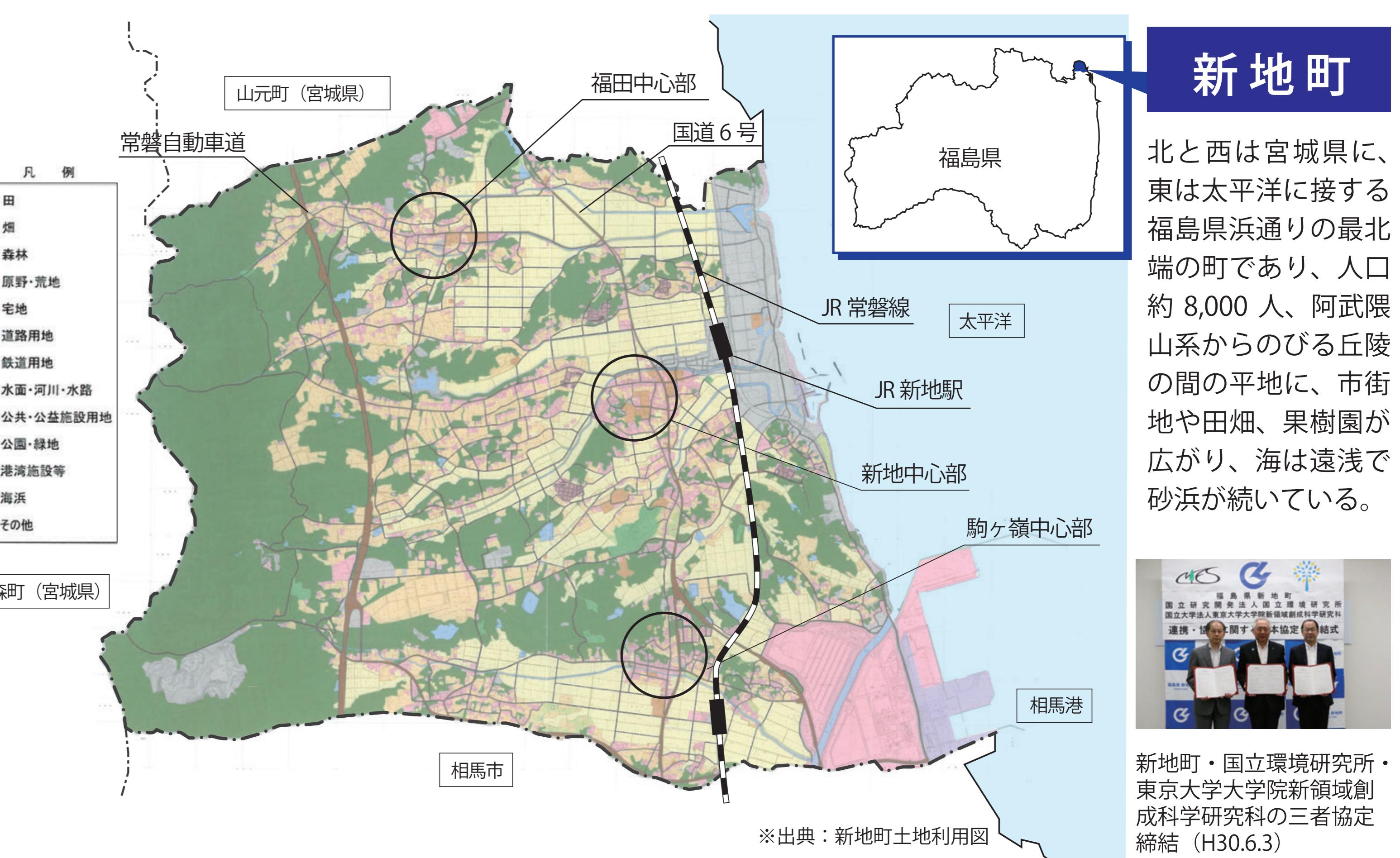
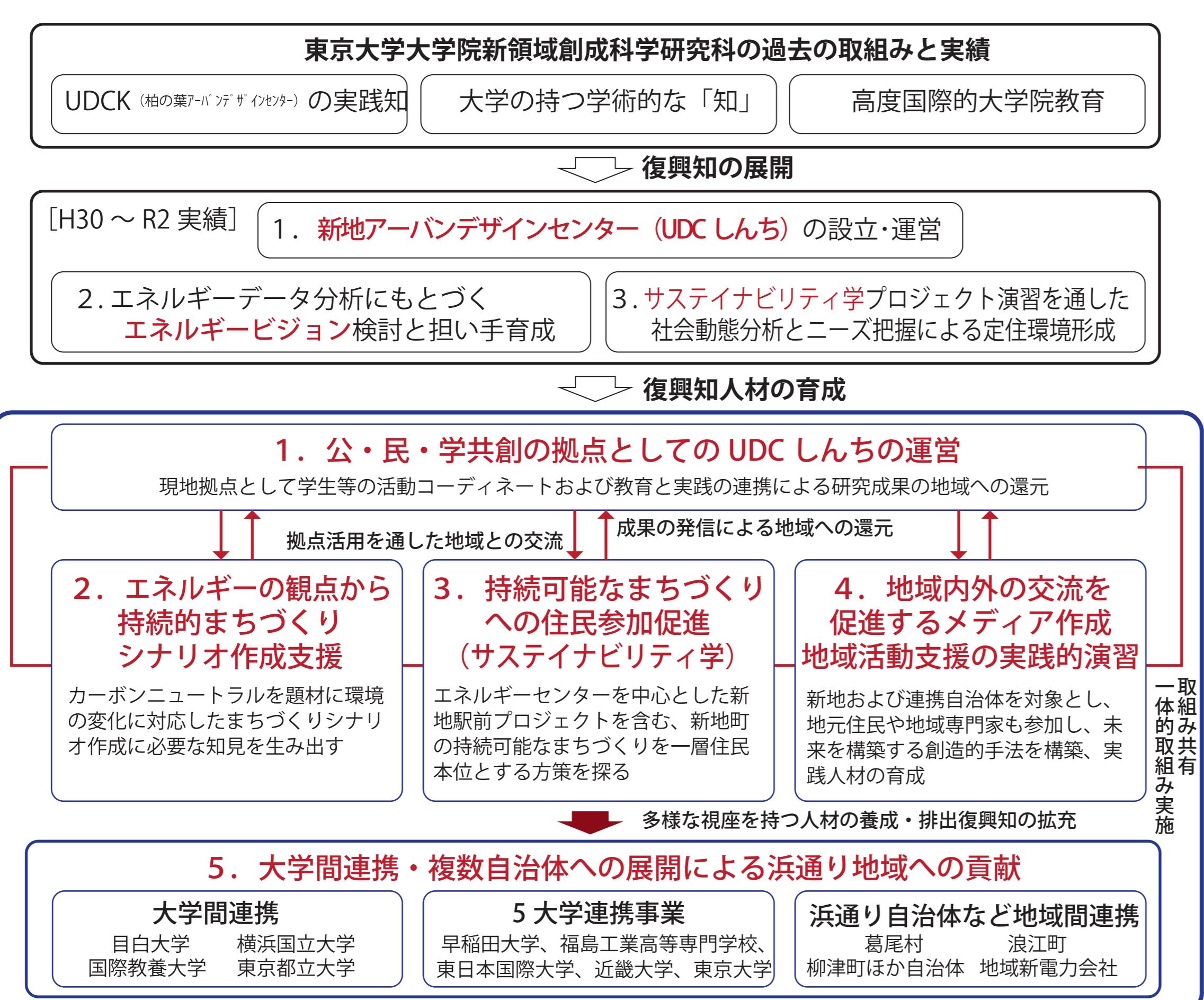


# 公・民・学共創による持続可能なまちづくりを通じた復興知人材育成

## 東京大学大学院新領域創成科学研究科

### 事業概要

新地町において、地域エネルギーシナリオ作成、住民参加促進、地域状況を伝えるメディア作成や地域活動支援、それらを統合した持続可能なまちづくりを、現地拠点UDC しんちを活用して公・民・学共創により実践する。これにより、復興の状況や内外の社会情勢の変化に順応し、創造的にまちづくりに貢献する復興知人材を育成する。



### 人材育成目標

時間の経過とともに変化する地域の復興状況や、地域の人の心情や意向を丁寧に理解するという地域に関わる観点と、国内外の社会情勢や地球規模での目標を適切に把握し、地域の実情や目標を考慮しつつ、地域課題の解決や地域の将来ビジョン・施策を提案するという観点を習得し、それを実践することができる人材を育成することを目標とする。

### 人材像

- 全体的観点
- 復興過程で、地域の人の心情や意向を丁寧に理解する行動ができる人材
  - 地球規模の目標や国内外の社会情勢を把握し、地域の目標を考慮しつつ、地域課題の解決に向かう構想を提案できる人材
  - 記憶が薄れることへ想像力を持ち、地域に寄り添い、将来像を描ける人材
  - 関係者と共に創り、将来ビジョン構築や実現方策を考案、活動できる人材
- 事業波及観点
- 地球規模の目標の概念と、それに対し地域が取り組む意義を理解する人材
  - 地域を再認識し、地域の内側から持続可能なまちづくりを実践する人材

### 達成目標

- 地域復興・将来社会デザインにかかる正規科目の開講
- 教員・研究員の参画(連携する大学等も含む)
- 地域の方が参加する UDC しんちでの企画の開催

【大学院生】現場の学びを通して、修了後もグローバルな状況を踏まえ、地域の実情を知り、地域の課題を解決する人材を輩出する

【地域】地域を再認識し、主体的に持続可能なまちづくりに関わる人材を増やす

【教員・研究員】継続して地域に関わり、大学院生・地域と共に創る人材を増やす

### 事業

### 持続可能なまちづくりのシナリオ作成支援

**再生可能エネルギーや省エネエネルギーの導入可能な量の推測**

- 「環境システム学輪講」の実施
- 太陽光：町内3地点で日射量等を計測（今年度増強予定）
- 家庭エネ：スマートメーターのデータ解析  
→風力&業務  
水力&輸送  
バイオマス&産業（来年度以降実施）

**エネルギー技術の望ましい導入の仕組みや導入方法の探索**

- 「環境システム学実地演習」の実施（2022年度）
- 国内の地域新電力やシュタットベルケのヒアリング・文献調査（7社実施）

**今年度の活動と予定**

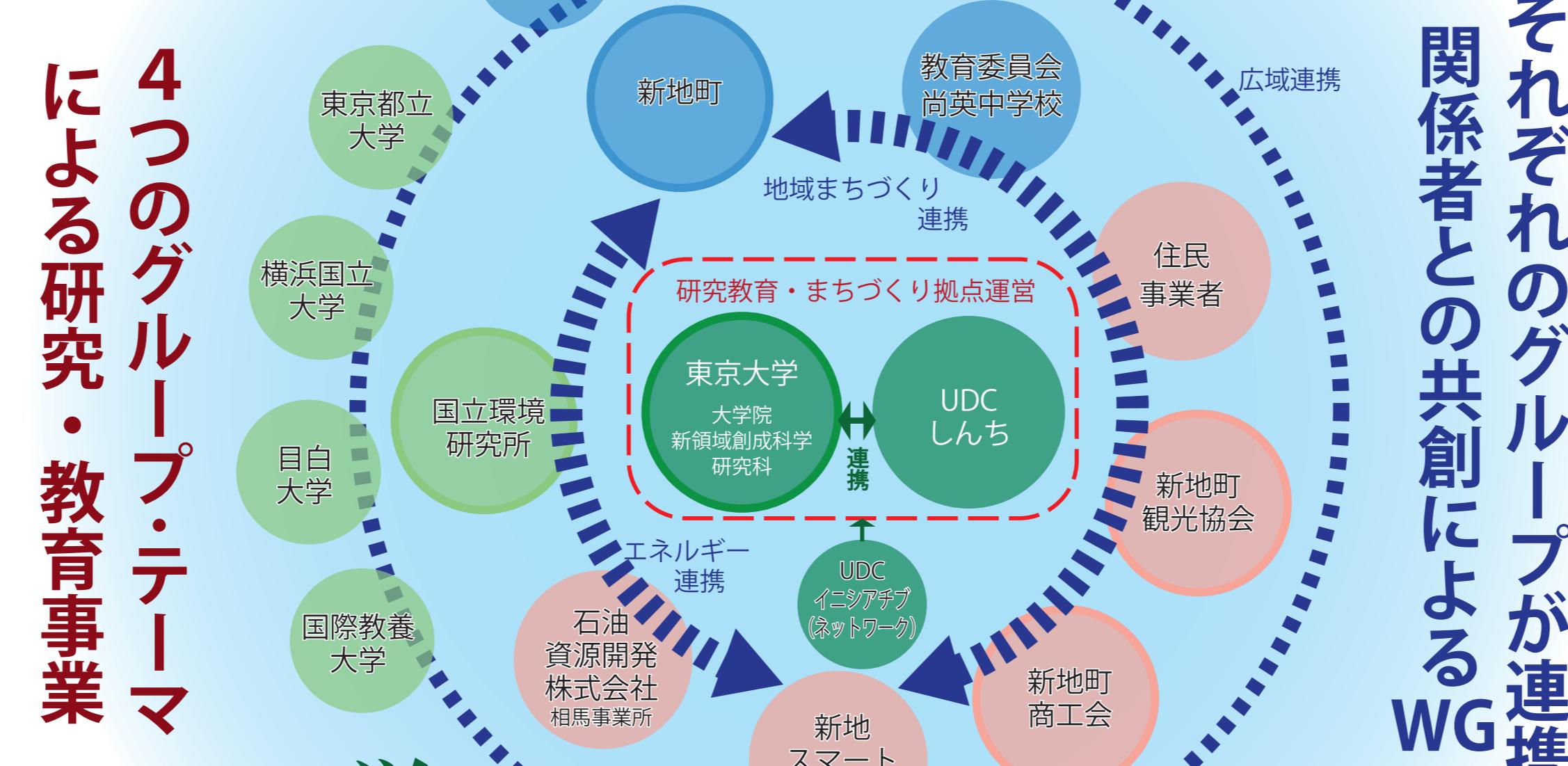
9/1~9/2 気象測器点検・補修  
10/29~10/30 「環境システム学輪講」現地実習  
気象測器の確認、再エネ導入適地の調査、家庭（家屋）の実態の調査

**エネルギー WG**

自治体や地域電力事業者の方とともに、地域エネルギー事業の動向や評価手法等に関する勉強会の開催。国立環境研究所、協力大学、新地町関係者、周辺自治体、地域電力事業等に呼びかけ、実施。

第1回 9/14(火)	「地域エネルギー事業の評価手法」
第2回 10/15(金)	「マイクロ水力発電および小型風力発電」
第3回 11/19(金)	「地域新電力の経営実態と地域エネルギー事業の将来展望」

**4つのグループ・テーマによる研究・教育事業**



**これまでの調査の状況 課題&資源の抽出**

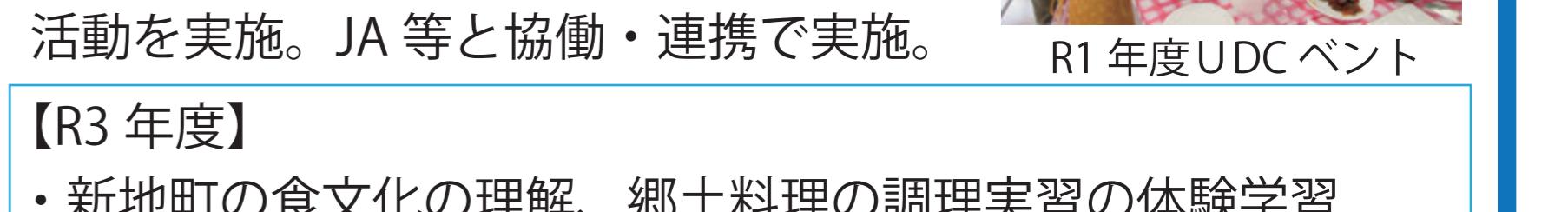
8~9月 計画・文献調査、東大チーム内ヒアリング  
9/5 企画撰集会ヒアリング  
9/13 10/13 まちづくり団体ヒアリング  
10/21 現地調査  
11/7 潮風フェス訪問

課題

- 駅前の親海堂公園の廻らい割出
- 町有施設の柔軟な利活用
- まちづくり活動の支援体制づくり
- まちづくり人材の被野の拡大

資源

- まちづくり団体の活動、コア人材の存在
- まちづくり活動の種・アイディア
- 整備された公共施設



### II

### 新地駅周辺市街地復興整備事業（観海タウン）における環境エネルギーまちづくりの促進と定着化

住民から見た「観海タウンのまちづくり、環境エネルギー」とは？  
住民ヒアリングや住民同士の議論を通して、新たな町の文化的アイデンティティを発見・想像し、まちづくりの促進と定着化につなげる。

**カルチャルマッピング**

- コミュニティの独自性やアイデンティティを理解するために、有形・無形の文化資源を洗い出す
- スマートテクノロジーとそこに住む市民（スマートシティズン）をつなぐ機能を果たす
- 柏木の葉スマートシティで住民参加型ワークショップを演習の一環として大学生が準備中

**今年度の活動と予定**

- ・新地駅周辺市街地復興整備事業（観海タウン）に関するドキュメントレビュー
- ・テーマ設定：観海タウン・環境エネルギーまちづくりの促進と定着化
- ・カルチャルマッピングワークショップ手法の開発（柏木の葉スマートシティ）を舞台にR3年11月～R4年1月実施予定
- ・R3年度：RAによる予備調査、R4年度～演習参加学生募集・演習開始

### 新地町の魅力発信 WG

大学の調査研究成果を活用して、新地町の魅力発信を行なう。新地町や観光協会等と連携してマップ作成や魅力情報発信のツール等について検討し、大学の活動成果を編集して、UDC しんち等で情報発信を行う。



### 学校統廃合と次世代育成

○福島県立新地高校の統合

・R4年度より相馬総合高校に統合される

・在校生はR5年度までは現校舎で学び続ける。

⇒学校統廃合の影響は広く地域の次世代育成に関わる問題であり、地域の持続可能性にとって重要な課題。



### 地域での新しい学びのあり方

○中山間過疎地における公営塾や地域留学受け入れの施設・制度整備

○地方・農山村地域の現場を活用して、プロジェクトベースで学ぶ高校や大学



### 地域に学びの機会を残し、自らが次世代を育成できるような仕掛けづくり

短期（1～2年目）

○新地高校の校舎に通い続ける現在の1・2年生への多様な学びの機会提供・国際教養大学・東京大学の学生による特別授業

○新地町とその周辺自治体にて起業・地域づくり分野で活躍する人々を招待して「地域で働く」をテーマにした講演会。

新地町のなかに中高生が自由に学ぶことができる空間をつくることで、地域に学びを残す（例：公営塾、学習支援、学習スペースなど）。

### IV

### 新地高校プロジェクト..地域での「学び」から持続可能な地域を考える